

## ■ ごあいさつ

---



経営管理委員会会長 **高月 初彦**



代表理事理事長 **西本 満俊**

組合員の皆様には、日頃より J A 運動並びに事業各般に亘って格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国経済は、安倍首相が表明した” 3本の矢” を柱とした経済政策（アベノミクス）効果から、輸出産業が持ち直し、並行した国内生産、内需拡大への波及期待など、徐々に回復基調にあります。反面、農政面では T P P（環太平洋経済連携協定）への交渉参加が表明されるなど、今後の日本農業を大きく左右する重大な局面をえております。例外を認めない T P P 締結は、更なる食料自給率の低下を招くことは誰の目から見ても明らかです。「T P P とは何か」、長期的視野に立った“国益”に繋がる政治判断となるよう、引き続き系統組織を大結集し対処する所存であります。

このような中、平成 24 年産温州みかん販売を振り返りますと、生産者の皆様の弛まないご努力により、西字和らしいミカンに仕上がりました。共選と連携した市場、量販店との三位一体の販売対策も実を結び 3 年連続の高値販売になりました。偏に皆様の生産努力の賜であり、改めて敬意と感謝を申し上げます。しかしながら、生産面では担い手不足・園地保全対策など待たなしの状況下にあります。また出荷者が減少する中で、年々増加傾向にある諸経費対策には共選再編は避けて通れない問題でもあります。引き続き、組合の使命である、産地振興と農家所得の向上に全力を傾注してまいります。

J A 経営につきましては、昨年 6 月に全中から「不祥事再発防止」の指導を受け、コンプライアンス遵守や不祥事再発防止策の徹底など役職員一丸となって取り組んでいるところであります。また、平成 23 年度は大変遺憾ながら貸倒引当金処理により出資無配当になるなど組合員の皆様にはご心配をおかけしましたが、平成 24 年度につきましては、組合員をはじめ地域の皆様のご理解、ご協力により事業実績は当初計画を上回る積み上げをすることができましたこと、心よりお礼申し上げます。

今後も農業・J A をとりまく環境は厳しさを増すものと思われませんが、第 35 回 J A 愛媛県大会のテーマでもあります「次代へつなぐ協同」を基に、地域 J A としての役割を果たすとともに、透明性が高く健全で信頼ある事業運営を行い、組合員及び地域の皆様に更なる貢献をしてまいります。

皆様の変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げます、挨拶といたします。